

# 中野工業株式会社

## 金型や設備を使いこなして 高品質のプレス加工品を生産

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



圧力能力 400t (PDL) のプレス機で高張力鋼板にも対応する

### 主な事業内容

金属部品のプレス加工

### 主な取引先(納入先)

シャッターメーカー、  
自転車部品メーカー

### 主な製品

シャッターの自動落下防止装置、  
スプロケット、自転車部品

### 業務内容

プレス工法転換で  
迅速・低コストに

金属プレス加工メーカーの中野工業は、主にシャッター部品の製造・組立や自転車部品の製造を請け負う。素材は鉄・高張力鋼板やアルミ、ステンレスなどを取り扱い、板厚は0.5〜12mmまで対応可能。プレス金型も自社で設計・製作を行っており、プレス加工への工法転換も提案できる。ほかにも、切削または転造加工で行うタップ加工をプレス加工内で行うことができ、QCDの大幅な改善につなげた実績がある。長年のプレス加工の経験があればこそ、成せる技と言えよう。

同社は、昭和21年に大阪市内で創業した。昭和46年には山口県山陽小野田市に小野田工場を開設。現在は岸和田市の本社工場と小野田工場でも生産を行っている。

### 強み 最新設備を使いこなす 高度な“人財”

高精度なもののづくりを実現するため、金型の設計・製作にはこだわりを持つ。設計には、ハイエンドクラスの3D CAD/CAMを使用。高精細なモデルリングが可能で、これにより設計品質を

追求する。また、金型製作には切削加工時の振動や熱歪みを抑制するマシニングセンタを使用。焼入れ後の高硬度の金型でも10mm以内の高精度な3D加工が行える。ただ、これらの能力が発揮できるのは優れた“人財”がいるからだ。「生産設備とそれを使いこなす“人財”が、車の両輪のように機能しているのが強み」と、中野光二社長は胸を張る。

### IT活用 DXで正確な 情報共有を促進

同社では、情報伝達の遅延防止や正確な情報共有を目的に、社内DX化に取り組んでいる。大多数の社員へパソコンやスマホなどの端末機器を配付。また、3DCADの導入を機に、従来の紙図面(二次元図面)からデジタルデータでの管理に移行している。これまでは、紙図面をもとに頭の中で三次元形状をイメージする必要があり、このスキルを得るまでには数年を要した。また、ベテラン技術者でさえ紙図面を読み違えることもあったという。三次元図面を全面的に活用したやり取りによって設計図面で正しく伝わるようになり、「図面に起因するコミュニケーションミスやトラブルがほぼゼロになった」と、中野社長はDXの効果を強調する。

### 社長あいさつ



代表取締役社長  
中野 光二さん

“いいものを作りたい!” 当社の企業経営は、この思いがすべてです。設備と“人財”を確保し、高品質・高付加価値の製品や迅速な対応で、お客様の期待に応え、信頼を高めていきたいと考えています。研究開発と改善を継続して、新たな可能性に挑戦します。

### 主な保有設備

- ナックルリンクプレス PDL-400 アマダ製 5台
- デジタル電動サーボプレス SDE-2025 ほか アマダ製 5台
- 鍛造プレス K1-6300E アイダエンジニアリング製 2台
- 立型マシニングセンタ V33i 牧野フライス製作所製 1台
- 3D CAD/CAMシステム NX1980ほか Siemens製ほか 2台

大阪05 ISO 9001

住所 / 〒596-0012  
岸和田市  
新港町14-10  
TEL / 072-436-3003  
FAX / 072-436-3001  
創業 / 昭和21年10月  
設立 / 昭和34年9月  
資本金 / 5,000万円  
従業員 / 57名



山口県山陽小野田市にある小野田工場



岸和田市にある本社工場



<http://nakano21.co.jp/>